

外国人材の受入れに関する円卓会議について

(公財) 日本国際交流センター

現在、日本では深刻な人手不足とともに、急激な人口減少が進行し、将来に対する懸念と閉塞感が深まりつつある。そうした状況の中で、2018年6月、日本政府は「経済財政運営と改革の基本方針」を発表し、「移民政策とは異なる」としながらも、大胆な外国人材の受入れの方針を発表した。

今後、新方針によって、外国人材の本格的な増加が想定される中で、外国人の望ましい受入れのあり方や定住への対応、さらには将来の日本のビジョンについて国民的な議論が必要とされている。しかしながら、従来、外国人材の受入れを論ずることはタブー視される傾向があり、政府、民間いずれにおいても議論は散発的で、継続的な議論の場は形成されていない。

そうした状況の下、(公財)日本国際交流センター(JCIE)は、渋沢栄一記念財団の助成を得て、2018年度より「外国人材の受入れに関する円卓会議」を設置する。

円卓会議には、政界、経済界、自治体、NGO、メディア等、社会各層を代表する方々に発起人としてご参画を願い、外国人材の受入れをテーマに、中長期的な視野に立って、外国人の望ましい受入れと定着のあり方等について、日本の将来に向けての方向性を示せるような多面的、包括的な議論を、自由闊達に行っていただくこととした。

JCIEは非営利、民間の立場から過去10年以上にわたり、在住外国人をテーマに事業を実施してきた稀有な組織であり、また本テーマに関して国内外に幅広いネットワークを有している。こうしたネットワークを生かして選任された円卓会議の発起人を中心に、日本人と外国人とのウィン・ウィンの関係構築のための議論を深め、そこでの意見を社会に幅広く広めて、外国人の受入れのあり方についての国民的な議論が高まることを期待したい。

円卓会議では初年度となる2018年度は、発起人会合の後、外国人受入れに関する新政策に関して多面的に議論を行なう。また年度末には本年度の議論を集大成する公開シンポジウムの開催を予定している。